

臨床研究情報

当院で ALK チロシンキナーゼ阻害薬治療を受けられた患者さん・ご家族様へご
協力のお願い

NTT 東日本関東病院呼吸器内科では、以下の臨床研究を実施しております。

この案内をお読みにになり、ご自身がこの研究の対象者に当たると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究にご自身の診療記録を使用して欲しくないとのご意思がある場合は、遠慮なく下記の問い合わせ先、もしくは倫理・医療監査委員会事務局へご連絡ください。

研究課題名

ALK 陽性肺癌に対する ALK-TKI 治療の後方視的解析

研究実施機関

NTT 東日本関東病院 呼吸器内科

研究責任者

野口智史

研究の意義と目的

この研究は、ALK という遺伝子に異常がある肺癌に対して、がんの増殖を抑えるお薬(ALK チロシンキナーゼ阻害薬;ALK-TKI)を使った治療を受けられた患者さんの長期的な経過を調べることを目的としています。ALK-TKI の登場により、進行した肺癌でも長く生きられる方が増えていますが、10 年以上に渡る長期成績を報告した研究はまだ多くありません。この研究により、当院で治療を受けた患者さんの治療経過や安全性を明らかにし、今後の治療や予後予測に役立てることを目指しています。

対象となる方

2014 年 4 月から 2025 年 9 月までに当院で以下のいずれかの ALK-TKI の治療を受けた肺癌の患者さんが対象です。

使用されたお薬の例

商品名(一般名)

アレセンサ(アレクチニブ)、ザーコリ(クリゾチニブ)、ジカディア(セリチニブ)、アルンブリグ(ブリグチニブ)、ローブレナ(ロルラチニブ)

実施方法

電子カルテを用いて以下の情報を過去の記録から収集・解析します。

この研究では、新たな検査や治療を行うことはありません。

患者さんの背景(年齢、性別、診断内容など)

治療の内容(使用薬剤、治療期間など)

治療効果

有害事象(副作用)

生存期間など

実施期間

2025 年 11 月 1 日から 2027 年 3 月 31 日まで

個人情報の取り扱い

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては、特定の個人を識別することができないように匿名化して扱います。

学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で破棄します。

費用

なし

利益相反

なし

同意の撤回

ご本人または、その代理人の求めがあれば情報を破棄いたします。ただし、すでに解析を終了している場合には、その結果を破棄することが出来ません。ご自分のデータの使用をお断りになっても、治療に不利益を受けることはありません。

問い合わせ窓口

NTT 東日本関東病院 呼吸器内科 野口智史

東京都品川区東五反田 5-9-22

電話番号 03-3448-6111(代表)